



カウナス市 (Kaunas)

【基本情報】

市制定：1408年
面積：157km²
人口：約29万人
公用語：リトアニア語



【概略】

北欧のバルト海沿岸に位置するリトアニア共和国の第二の都市。旧ソビエト連邦併合以前は臨時首都として日本領事館が置かれ、第二次世界大戦中に「命のビザ」を発給した杉原千畝氏が勤務していました。市中心部の旧市街には歴史的建造物が多く残り、美しい街並みが有名です。

【地理】

リトアニアの中央部に位置し、リトアニアの二つの川、ネムナスとネリスの合流地点に挟まれた地形。首都ビリニュスから100キロ、国の主要な港クライペダから212キロに位置しており、それぞれの都市につながる高速道路の中間に位置しています。

【経済】

食品加工や繊維・化学産業のほか、木材加工や家具製造業等が中心産業ですが、近年ではICT産業が急成長しており、大手IT企業が開発拠点を置くなど情報技術・エレクトロニクス業界から注目されています。

【交流の経緯】

2018年に友好交流の覚書を締結したことを契機に、学校間でのオンライン交流など教育分野を中心とした交流のほか、文化団体の相互訪問、それぞれの市の魅力を紹介する写真展や文化講座を連携して実施してきました。



カウナス市のシンボル「カウナス城」



メインストリート「ライスヴェス通り」